

# 令和3(2021)年度入学試験問題出題のねらい・解答例 (学校推薦型選抜)

中村学園大学〔栄養科学部 栄養科学科〕

## 【小論文】

栄養科学部栄養科学科は、管理栄養士養成課程であり、栄養科学の広い領域を学ぶ理系の学科である。学校推薦型選抜では、自然科学に対する理解と、その現状を理論的な思考で把握し、言語化して伝達できる能力が求められる。小論文の出題においては、記憶された知識を問うだけではなく、提示された統計データなどから情報を正確に、また的確に読み取り、設問に応じて計算あるいは考察し、適切な表現で記述できることを問う形式になっている。

### (その1)

#### 〈出題のねらい〉

世界的な気候変動問題に関わる温室効果ガスの排出量について、2017年のCO<sub>2</sub>排出量上位7カ国のCO<sub>2</sub>排出量と一人当たりのCO<sub>2</sub>排出量(表1-1)、日本のCO<sub>2</sub>の部門別排出量(電気・熱配分後)の推移(図1-1)と、日本の家庭からのCO<sub>2</sub>排出量(世帯当たり、用途別)(図1-2)を取り上げた。

設問1は、問いの文章に従い、表を適切に読み取り、正しく計算できるかどうかを評価した。

設問2は、問いの文章を正しく理解して、表中のデータを手掛かりに論理的に考え、正しく計算できたかを評価した。

設問3は、日本は温室効果ガス排出を2030年度までに2013年度比で26%の削減を目標としていることに鑑みて、家庭部門のCO<sub>2</sub>排出量について2018年時点での2013年度比の減少率を求める問題である。問いの文章を正しく理解して、図より数値を読み取り比率による計算が正しくできたかを評価した。

設問4は、日本の家庭からのCO<sub>2</sub>排出量を効果的に削減する方法について、図を読み取って適切な方法を考え出し、削減の対象とした用途を選んだ理由と削減方法の提案が論理的に記述できたかを評価した。加えて、誤字・脱字、文法上の誤りがなく、定められた字数で記述できたかについて評価した。

#### 〈模範解答例〉

設問1 12.2 (%)

設問2 109 (億トン)

設問3 20.2 (%)

設問4 CO<sub>2</sub>排出量が2番目に多い自動車を対象に選んだ。CO<sub>2</sub>排出量を効果的に削減する為には、電気自動車や低燃費車への買い換えを促進する施策を推進するのが良いと思う。(79字)

### (その2)

#### 〈出題のねらい〉

国民医療費、国内総生産及び国民所得の推移(表2-1)と年齢階級別にみた国民医療費と人口の推移(表2-2)に関する統計資料を取り上げた。

設問1は、設問の文言を理解し、表中の該当する数値を適切に読み取り、正しく計算できるか否かを判定した。

設問2は、国民医療費と国民所得の年次推移について考察する問題である。2つの項目に焦点を当て、それぞれの値の動向について説明し、誤字や脱字がなく適切な文章表現により定められた字数の範囲内で記述できているか否かを評価した。

設問3は、設問の指示に従って、国民医療費の増加率が最も高い年齢階級とその倍率を計算により求めることができるか否かを判定した。次いで求めた年齢階級の国民医療費が増加した

要因は、どのような理由に基づくものなのか、適切な文章表現により考察できているか否かを評価した。

〈模範解答例〉

設問1 (A) 5.70 (%) (B) 10.34 (%)

設問2 1995年度から2015年度にかけ国民医療費は、約1.6倍に増加したが、国民所得は、大幅な変化はなくほぼ横ばいである。(59字)

設問3 (最も高い年齢階級) 65歳以上

(倍率) 2.54 (倍)

(理由) 国民医療費の増加率が最も高い65歳以上の高齢者人口が、増加したためと考えられる。(40字)